

# 立正大学 志望理由書の書き方(実践編)

講師 國井丈士(代々木ゼミナール)

## ◆ステップ1 まず抽象的でもいいから概略を書いてみよう

「何ごとも全力でこなす」、「結果はあとからついてくる」——これが私のモットーです。性格は「論理的」な思考が好きで、「責任感」が強いと言えるでしょう。高校三年間、書道部に所属し、部長と会計を兼ねていました。これまで経験したことのない、中国との交流会で、お互いに展覧会を開くことができました。

## ◆ステップ2 概略を具体化して書いてみよう

私は何気ないきっかけから書道部に入部しました。もともと書道部よりも運動系の部活に進みたかったのですが、通学時間が長いことから文化系の部活を選ぶことにしたのです。書道部は部活紹介でなんとなく決めたというのが本当のところですが。私はどちらかというと理科系の科目のほうが好きなのですが、将来は経済学部で経済の仕組み、特に金融政策を学びたいので文系を選択したものの、文学とか芸術にはあまり興味がないのです。ところが、書道だけは「マイったなあ、すごいなあ」と思うのです。というのは、基本を守ったうえで、自分の感情で、好きなように表現してよいのです。物心ついてから、遅刻もせず、前日の夜には明日の用意、それもハンカチまで枕元に用意してきた几帳面な人生では驚きそのものでした。しかし、何を書いてもよいというのではなく、不道德なこと、たとえば「殺人事件」などというようなことは書かない、それもまた私には合っているのです。二年生の春、私の高校は中国の高校と姉妹校になりました。それがきっかけで、日中書道展を開催することになり部長として、出展の準備、パンフレット・ポスターの作成等に関わりました。そこで学んだのは、リーダーシップをとりながらもバランスをとること(漢文で言う「中庸」)が重要であることを学びました。日本人同士だと、何かにつけ「まあ、まあ」というような中途半端な妥協に陥りがちなことも、中国の高校生徒の交流を通じて「主張」と「妥協」のバランスがわかったのです。このような経験に〇〇学部での学修をプラスした力をつけ、将来は国際社会に貢献できるような仕事に就きたいと思っています。